

## コンチェルト I 部門

とてもお若いのにみなさんしっかりした技術をお持ちで素晴らしかったです。今からすぐにでもオーケストラと共演できるくらいよく準備されていて、お見事だと思いました。何人かの方は、音の質を注意深く聞いていらっしゃるのことが見受けられました。これはとても大切ですから、小さいときから気を付ける習慣をつけるようにしてください。アーティキュレーションと強弱の違いが、その曲にふさわしいキャラクターを生み出します。ですから、より意識するようにしましょう。

みなさん生き生きと演奏しており、優劣をつけにくい部門でした。それぞれ伴奏もとても音楽的で、見事なアンサンブルでした。

- ・ソリストが伴奏パートを弾くとき、オケパートのメロディを引き立てるつもりで弾くとさらに良くなるでしょう。
- ・調の変化、ハーモニーの色の変化を音で表しましょう。
- ・テンポを安定させて、曲を通して脈拍が感じられるとさらに良くなると思います。

コロナ禍の中で、今年は映像審査になってしまいましたが、演奏動画を録画する作業は solo でも大変なことです。ましてやコンチェルトの部での作業はどれほど大変な事だったでしょうか、頭が下がる思いです。伴奏者、2台ピアノのある会場の手配にご尽力頂いたお陰で、こうして聴かせて頂けております。ご家族、指導者の皆様、伴奏者の皆様に感謝申し上げます。アンサンブルの審査は楽しく、審査と言うより楽しく聴かせて頂きました。全体のレベルは高く、特にコンチェルト AA のレベルは高く、ショパニストコンチェルト A 部門もこれほどお弾きになるんだと頼もしく聴かせて頂きました。コンチェルト I は経験も少ないので未だ幼い所もあり、もう少しアンサンブルして欲しいと思うところもありましたが、こうしてアンサンブルを楽しまれることでさらに豊かな音楽を楽しまれることでしょう。

皆様、良く練習できていますが、自分の演奏に集中してしまい、人の演奏を聴く、呼吸、タイミングを合わす、バランスをとるといいう事が、まだまだできていないと感じました。自分のパート以外のパートの音楽を共に歌う、共に演奏しているという一体感をもっと感じて演奏できると良いと思いました。

- ・いろんなジャンルの曲があり、楽しく聞きました。
- ・伴奏者との音量のバランス、テンポ、フレーズ感が大事。
- ・ソリストのメロディラインや音色の響かせ方、音楽の流れや盛り上げ方をもっと伝えていただきたいです。
- ・コンチェルトは究極のアンサンブルなので多く方に挑戦して欲しいなと思います。
- ・転調や和声の変化を意識して演奏している方が多く、とても楽しく聴かせて頂きました。
- ・離鍵するときに手首を上手に使って、長いフレーズで演奏出来る様に心がけましょう。
- ・音を無理に出そうとして手首に力が入らない様にしましょう。